



軒下で竹ランタン作り

6月8日、今年もホテル観賞会が開催、親子連れの方を中心にたくさんの方が来場されました。今年も「いよあかり」さんのご協力の下、竹ランタン作りを行い、それを持って川沿いを歩きながらホテルを観賞する予定でしたが、イベント開始直後から雨に見舞われた為、集会所の軒先で順番に竹ランタン作りを行いました。集会所内でもミニゲームなどのレクリエーションを行



古新聞を使ったレクリエーション

雨の中のホテル観賞会 (文責) 原田 浩明

2024年8月17日(土)に伊予市三秋にある西願寺に於て14回(24年8月17日)のキャンプを実施しました。県内外の小学生27名から2年生までの子ども達と、

第14回わくわく体験(文責)愛媛県VYS連合協議会 谷本 和之



イベント参加者の皆さん



世界に一つだけの竹ランタン

うという段取りに変更。最後は、恒例のお楽しみ抽選会が行われ、ホテルは見れなかったものの、皆さん楽しいひと時を過ごすことができたようでした。



植物迷路で奮闘

スタッフは高校大学生から社会人の23名、総勢50名参加し、楽しい野外活動を体験しました。午前中に集まり、開会式の後、参加者でチームを組み、ゲーム大会で競争しながら親睦を深めました。その後、座禅体験を行いました。お寺ならではの体験を行いました。お昼飯の後はペットボトルを使って風鈴を作りました。低学年には少し難しく、リダーやお友達同士で協力しながら作業しました。少し休憩を挟み、オリエンテーリングとして畑に作成した植物迷路とキューリ収穫体験を行いました。昨年参加した子ども達はさくさくとして、初めてのお友達はどきどきしながら、みんな笑顔で最後まで取り組んでいました。最後



お寺で座禅体験

愛媛県VYS連合協議会のホームページにキャンプに関する記事載せています。ぜひご覧ください。愛媛県VYS連合協議会のHPはこちらのQRコードから



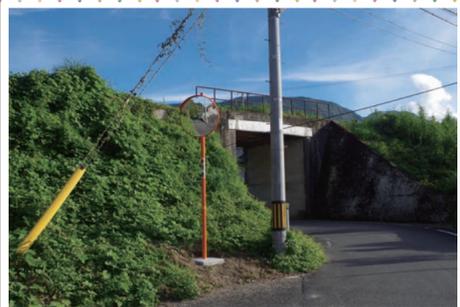
参加者全員で記念撮影



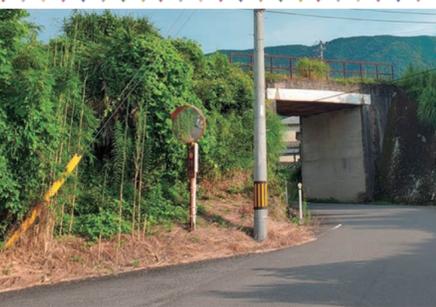
キュウリの収穫体験



迷路内でジャンケン



新しくなったカーブミラー



新しくなる前のカーブミラー

先日、犬の散歩で歩いていたら、JRTンネル前(消防詰所前の交差点)のカーブミラーが新しくなっていました。今年も確認したところ、今年の5月に愛媛県内でカーブミラーが、相次いで倒れる事故を受け、各地で緊急点検が行われ、その一環でこの場所のカーブミラーが新しくなったそうです。今後他のカーブミラーも危険度に応じて更新されていくのだろうと思います。

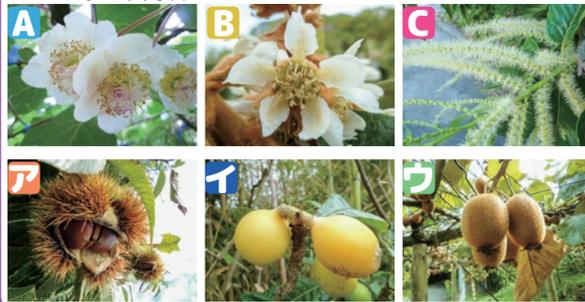
カーブミラー新しく (文責) 原田 夏子

読者プレゼントコーナー

~伊予市の特産品(果樹)に関するクイズ~

伊予市の特産品(果樹)として有名な、くり・びわ・キウイフルーツは、三秋においても栽培されています。

Q.栽培されている果樹名と花と果実を組み合わせてください。※果樹名 くり・びわ・キウイフルーツ



応募方法

①クイズの答え くり【花】()【果実】() びわ【花】()【果実】() キウイフルーツ【花】()【果実】()
②住所③氏名④年令⑤本紙の感想(どの記事が良かったか)などを明記の上、郵便ハガキ・Eメール・公式HPの応募フォーム(左記のQRコードからアクセス)のいずれかにてご応募ください。正解者の中から抽選で1名の方に図書カード500円分をプレゼントいたします。

宛先 〒799-3124 伊予市三秋甲271-2 地域新聞みあき事務局 宛

Eメール info.miaki@gmail.com

応募締切 2025年1月6日(月) 必着
当選発表 本紙第24号にて

※ご応募いただいた皆様の個人情報は事務局にて厳重に管理し、プレゼントの発送及び当事務局からのお知らせ以外の目的では使用いたしません。

第22号のクイズの答えと解説

- 答え ①かっぱうよう号 (A) ②鉄道ホビーとレイン (B) ③夕焼けビールトロッコ列車 (C)

解説 ①かっぱうよう号 予土線の宇和島駅～高知県窪川駅の予土線を運転。予土線3兄弟の次男。海洋堂ホビーとレイン。

②鉄道ホビーとレイン 予土線を運転。予土線3兄弟の三男。鉄道ホビーとレイン。初代新幹線0系をイメージした列車。

③夕焼けビールトロッコ列車 徳島線の徳島駅～阿波池田駅間の土・日・祝日に運転している「藍よしのがわトロッコ」列車です。夏の風物詩として、毎年伊予灘線の松山駅～伊予長浜駅間を「夕焼けビールトロッコ」列車として利用されています。伊予灘線では、一般車両はラッピングされていません。

予土線を運転している、かっぱうよう号と鉄道ホビーとレインはほとんどお目にかかることはありません。点検・整備などで移動する時ぐらいだと思います。 ※J.R四国 ホームページ参考

第22号の当選者は残念ながらいませんでした。

編集後記

最近漸く、朝晩が過ごしやすくなってきましたね。日中も時折涼しい風が吹くようになり、秋の気配を感じるようになってきました。今年の夏はとにかく暑かったため、やっと身体が休めそうです。これから、レコンイベントに向けてコツコツと準備を進めていこうと思っています。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

みあき図書館 (文責・岡田 有利子)

『めっきらもっきらどおんどん』 長谷川摂子(作) ぶりやなな(画) 福音館書店



今年の夏は、厳しい暑さが続きました。私が子どもの頃の暑さとは違う、酷暑とでも表現したいような毎日でした。幼少期の夏の記憶と言えば、ラジオ体操、自由研究、線香花火といういろいろありますが、母方の祖父母宅に泊まり、いとこたちとスイカを食べたり、雑魚寝をしたりしたことを私は思い浮かべます。

今回紹介する絵本は、主人公「かんだ」が過ごした不思議な夏の出来事物語です。遊ぶ友達が誰もいないある日、かんだは大声でめちやくちやの歌を歌います。すると、突然風が吹き、奇妙な歌声が聴こえてきました。その声はどうか穴の中から。かんだが思わずその穴を覗くと、なんと、かんだは吸い込まれ、あれよあれよと運ばれて、たどり着いたところは夜の山でした。そして、へんてこりんな三人組と出くわします。これがまた珍妙な姿かたち。ここではどうやら異世界のようです。ただかんだは怖がらず、その三人組と楽しく遊んでいくのですが……。

不思議な書名は、かんだが歌った歌の一部からきています。言葉の響きがリズムよく、威勢よく叫びたくなるような言葉です。そしてかんだ達の遊びも実に楽しそう。珍妙なかたちの三人組は、とても愛嬌があって、素直に喜びを表現するのです。さあ、かんだは異世界でこの後どう過ごし、そして元の世界に帰ることができるのでしょうか。

三秋に住むご家庭でも、お子さんやお孫さんが帰って来たり、親戚が集まったり、楽しく夏を過ごされた方もいらっしゃると思います。安心して過ごせる故郷で大人は英気を養い、子どもたちは思い出を深める。どんな方にでも、夏の記憶や物語があるのだと思います。

うちの家族を紹介します (文責・日山 貞治)

No.14 武知錠司さんの「おいも」ちゃんと「こむぎ」ちゃんとおこめ」ちゃん

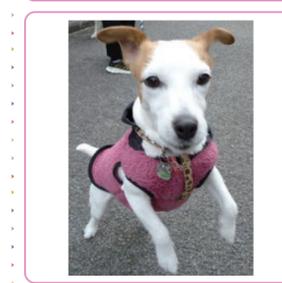
前号で紹介しきれなかった、新しく家族の一員になった「おいも」ちゃんと「こむぎ」ちゃんと「おこめ」ちゃんを紹介します。



「おいも」ちゃん
性別 女の子 年齢 2歳
犬種 ボーダーコリー
性格 食べるのが大好きです。最近、甘え上手になっています。



「こむぎ」ちゃん
性別 女の子 年齢 3歳
犬種 ボーダーコリー
性格 一番の甘えん坊です。すぐに「さすって」と、べったりしてくれます。



「おこめ」ちゃん
性別 女の子 年齢 3歳
犬種 ジャックラッセル
性格 人も犬も大好きです。オモチャが大好きで、好奇心旺盛です。

紹介して頂ける家族(ペット)大募集!自薦他薦問いません。公式InstagramのDMかメールにてご連絡下さい。公式 Instagram @makinews メールアドレス QR



**三秋で見つけた赤と白
(工作物・構造物)**

(文責) 白山 貞治

赤と白の組み合わせは、けっこう目にするものがあり、よく目立ちます。
イメージとしては、紅白の垂れ幕や浮か餅など、お祝い事が思い浮かびます。それ以外にも、危険を促す意味でも多く使われています。
三秋で見つけた赤と白は、カラーコーン・自動販売機・自動車・ダイハツやスズキのロゴマーク・郵便ポストの文字やマーク・交通標識の一時停止(規制標識)や視線誘導標・水之明神社の鳥居などがありました。
次回号では、植物や自然現象について紹介したいと思います。



ポストマーク



視線誘導標



コーン



自動販売機



水之明神社の鳥居(手前)



水之明神社の鳥居(奥)

町家で活動をPR

(文責) 原田 浩明



三秋産農産物の直売コーナー

8月16日、手づくり交流市場『町家』にて「みあきフェア」が開催されました。今年度は、ホテル観賞会等でお世話になっている「いよあかり」さんとのコラボで、同じブース内にそれぞれの団体の活動紹介や物販を行い、それぞれの活動も伊予市内外の方に知ってもらえる良い機会となりました。



「いよあかり」さんのコーナーとレンコンPR

夏から秋にかけて咲く一日スweifヨウ(酔芙蓉)
(文責) 白山 貞治

花です。毎日、色々な表情をして楽しむことができます。朝、白い大型の花をつけますが、昼頃よりだんだんとピンク色に徐々に変化し、午後にはピンクカラーに変わります。このことから、お酒に酔っているように見られることから、酔芙蓉と名付けられたようです。一日中鑑賞していても飽きない珍しい花です。フヨウは、南国の花のイメージがある、「ハイビスカス」と同じ仲間です。



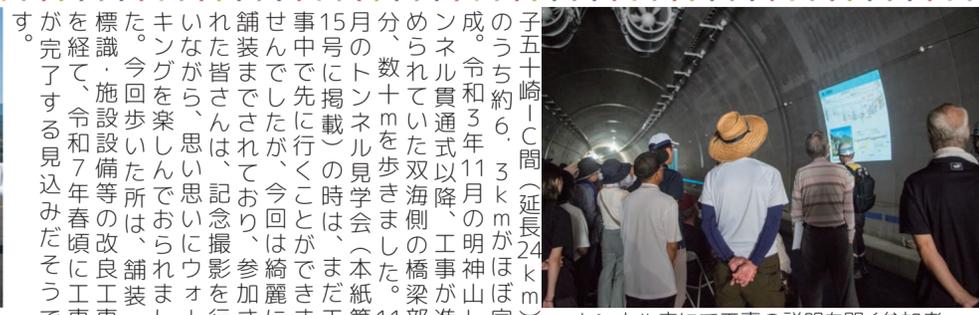
絶景

夕方の酔芙蓉

朝の酔芙蓉



新しくできた高速道路を歩く参加者



トンネル内にて工事の説明を聞く参加者

木製の鳥居建現れる
(文責) 白山 貞治
以前「みあき新聞」19号で、池の水を堤体の外側に流すための斜樋に使用されていた、コンクリート製の鳥居建を紹介しましたが、三秋大池の改修工事のため、池の水をすべて抜くための底樋を使って排水をしています。それに伴って、池の水位が下がったことで、今まで見たことのなかった木製の鳥居建が姿を現しました。
鳥居建は、木製の大型のもので、長く浸水状態だったのが腐朽を防止して形状がよく保たれ、筆木(木柱)も残っています。水が少なくなって全体像は水が確認できていませんが、今後すべて水が抜かれ、鳥居建の全様や底樋管の様子も確認され、調査されると思います。



旧木製鳥居建



底樋ゲート・鳥居建

今年のレンコン

(文責) 原田 浩明



真夏のレンコン畑(8月8日撮影)

4月に植付けを行いました。レンコン畑は、夏の猛暑を乗り越え、すくすくと育っており、おそろく、昨年と同等あるいはそれ以上のレンコンが地中に埋まっていると思います。三秋住民の皆さま(その関係者含む)には、10月27日に大収穫祭を企画しておりますので、たくさんの方のご来場をお待ちしております。

村界橋(そんがいばし)

(文責) 白山 貞治

三秋と双海町高野川の境界を流れる畑川に架かる橋に架かる橋。国道378号の旧道に、昭和43年2月完成の畑川に架けられた橋があります。名前は村界橋です。長さは約6m、幅は約5mの短い橋で、設計荷重が20tになっています。村の境界に架けられた意味の橋だと思われ、伊予市の一部になったのが、昭和30年。高野川が含まれる上灘町が、下灘村と合併して双海町になったのも同じ昭和30年です。



村界橋

合併から13年後に完成したこの橋の名前が、村界橋と名付けられたのも、明治・大正時代の名残でしょうか。今では、利用する人はほとんどいません。

軒先瓦(軒丸瓦・軒平瓦)ウォッチング①

(文責) 白山 貞治

古い建物の屋根は、丸瓦と平瓦を組み合わせた本瓦葺きの屋根になっています。三秋地区でも、数件ですが残っている建物もありました。今回は、軒先瓦のうち軒丸瓦のデザインについてウォッチングしてみました。
三秋地区では、丸に右三ツ巴紋と丸に左三ツ巴紋を確認することができました。巴紋は、外側に連珠が無いものと、12玉・16玉・18玉のものがあります。巴が左側に流れる左三ツ巴紋連珠なし



巴紋連珠なし



巴紋連珠18玉



巴紋連珠16玉



巴紋連珠12玉(下三秋お堂)



巴紋連珠12玉(下三秋お堂)

は、三秋地区では確認できませんでした。

甕(かめ)

(文責) 白山 貞治

甕は陶器製で、台所に置いて水を溜めておくものです。その他にも、梅干しやたくあん・白菜などの漬物にも利用されていました。私のごもりの記憶では、正月についた餅を水餅として、甕の中に入れて保存していました。毎日、水を替えていると長持ちしていたと思います。また農家では、もみ種を浸して塩水選に利用していたと聞きました。



かめ再利用



かめ3個

として再利用されている家庭を見ることがあります。

みあき写真館 (写真) 原田 浩明



三秋ブルーと向日葵畑

西村浩二さんの向日葵畑です。5月のゴールデンウィークに播種。今年で4年目だそうです。(7月27日撮影)



お詫びと訂正
第22号にて以下の誤記載がありました。訂正してお詫び申し上げます。2ページの「『愛高警備保障』交通警備女性リーダー奮闘記」の「銅釜」さんの漢字が間違っていました。正しくは「銅釜」さんです。3ページの「卒業・入学おめでとう」の「谷本紘之」くんの漢字が間違っていました。正しくは「谷本紘之」くんです。